

海坊主の海想記

タコクラゲ

丘に上がった海坊主

ここ数年、毎年のように「エチゼンクラゲ」の大量発生が問題になっている。このニュースを聞いた時に、昔のことを思い出してしまう。(姿もタコクラゲによく似ている)

1985年頃だったか？(はっきり覚えてない)崎枝湾(底地ビーチの奥)の綺麗な白砂の浜がコンクリートで仕切られてしまった。陸地は、大規模な農地造成工事(土地改良事業)が行われた。

海人にも利益があるよ、ということか？申し訳ないほど小さな船揚場と防潮扉もできた。

この護岸が出来る前は、本当に自然のままの綺麗な砂浜で、陸地はジャングルのように手付かずの木々が生い茂り、海の中では、春に質のいいモズクが沢山採れた。

石垣島に住みついた当初(1981年)、まだ熱帯魚もろくに獲れない日々が続いていた。毎日のように海人(カマジー)にくつついて、海には行っていたが、稼ぎになることは無かった。

天気の良い6月のある日、崎枝の浜に釣りをしにいった。運がよければヨスジフエダイが釣れると言うのだ。この魚は群れで行動していて、一匹釣れれば、数が見込める。鑑賞魚の中でも人気がある魚だ。

しかし浜から投げる竿には、なかなか反応が無かった。ここの海は遠浅で、潮が引くと数百メートル歩いても腰ほどの深さしかない海だ。

"こんな遠浅の砂地で、ヨスジなんか釣れるものか"と、内心呆れていた。

何度か餌を投げ込んだ時、竿先が"コツコツ"と揺れた。「よし！」とばかりに大きく竿

をあおる。

"おや？結構大きいぞ"細めの竿先が大きく弧を描く。

綺麗に透き通った水中に見えてきたのは、なんと！生まれたばかりと思われる(30~40cm程)可愛いサメだった。

"こんなに浅い所にいるのか！"初めて見る、石垣島の素晴らしい素顔。"確かに南のサンゴ礁の海に居るんだ"と実感し、涙が出るほど感動してしまった。

しかし、これから海で生きていく自分には、ちょっと怖い一面でもあった。

そんな海を、初めて夜泳いだ時、やはりサメのことが頭から離れず、もし親が傍にいたら？と、ドキドキして泳いだ。

しかし、崎枝の海はどこまでも美しく、白い砂に反射した電灯の明かりに、眼が眩むほど水は透き通り、魚たちといえば、電灯に驚いてサンゴの影から飛び出して来る者もいれば、イソギンチャクに抱かれながら安心して寝るクマノミの親子もいる。

そして、サンゴの穴深く隠れるタコやミーバイ(ハタの仲間)たち。ごくあたりまえの毎日をおくっている。

そんな奴らを見ていると、恐怖心はすっかりどこかへ飛んでいってしまった。

しかし、その大好きな海が一変したのは、土地改良事業(土地改悪事業)が始まってからだだった。

護岸工事が終了し、しばらくは静かになっていた。しかし、それからが本当の工事の始まりだった。

大きな重機が何台も持ち込まれ、黒い煙を吐きながら動き始めた途端に、西表島にも匹敵する？ 崎枝ジャングルは伐採され、哀れな赤土の大地を露出していった。

人間と機械の力は凄まじく、みるみる大地は整地されていき、何十本ものコンクリートの側溝が海に向かって作られていった。

それからは、雨が降るたびに赤い大地を海に流して行った。海は文字通り真っ赤な血の海になり、その濁りは何日も澄むことは無かった。

そんなある日、その海で仕事を終えた時だった。すでに夜は明けていて、腰ほどの深さをダラダラと獲物を引っ張りながら、護岸に向かって歩いていた。

歩きながら感じる、嫌な感触。ヌルヌルと滑るように、沈みこむ感じが足の裏にあった。見てみると、足が底に着くたびに、モヤモヤと赤土が舞い上がっていた。

海の中では思ったより気持ちの悪いものである。護岸が近づいてくると、さらに赤く濁り、もう足元さえ見えなくなっていた。

ふと、周りを見ると、なんか赤い塊があちこちに浮いている。泥まみれのビニールが漂っているのか？ と思ったが、それは、浜に近づくにつれ、何十、何百という数になっていった。

やがて護岸というところで、自分の体は、その群れの中に吸収されていた。

"アガヤ～ 動いている。クラゲだ！"

赤土のような色合い、尾のほうがビラビラと太く、いかにも刺されそうな、気持ち悪い奴だった。

「大丈夫よ！ これは 刺さんよ～」と、カマジー。とは言うものの、これだけいると心中穏やかではない。体中には鳥肌が立っていた。

今まで何十回と泳いだ海だけど、初めてこんな光景に遭遇した。私が知らないだけで、元々ここにはいたのか？ それとも、何らかの異常がそうしたのか？

今となっては、答えを得ることはできないが、少なくとも護岸工事と土地改良事業で、海は変わってしまった、ということは明らかである。

その後、この海でモズクは採れなくなった。

あんなに綺麗で豊かな海だったのに。

もう二度と会えないだろうな、あの日の海に。

参考動画

<http://www.youtube.com/watch?v=fKhelq6zhJU>
海の場合は違いますが、電灯潜りの様子です。

「エチゼンクラゲ」 東日本大震災以降、目撃例が激減しているそうです。どうやら、原発の停止などが、影響しているのではないかと囁かれているそうです。

